

## 第 62 回(H24 年度第 9 回)MT 委員会議事録

日時: 2013 年 1 月 25 日 13:30–14:50

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井<sup>a</sup>(委員長)、青井<sup>d,†,‡</sup>、福西<sup>a</sup>、平山<sup>c,†</sup>(宮武代)、上垣外<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、西村<sup>a,†</sup>、上野<sup>a</sup>、上叢<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>、矢向<sup>b</sup>(下浦代)、久保木<sup>a,†</sup>

欠席: 阿部<sup>a</sup>、延與<sup>a,†</sup>、羽場<sup>a,†</sup>、加瀬<sup>a</sup>、宮武<sup>c,†</sup>、森田<sup>a</sup>、本林<sup>a,†</sup>、櫻井<sup>a</sup>、下浦<sup>b</sup>、上坂<sup>a</sup>、山口<sup>b</sup>、吉田<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>KEK / <sup>d</sup>RIBF-UEC / <sup>†</sup>Observer / <sup>‡</sup>TV Attendee  
(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT スケジュールの変更 (上野)

前回委員会で報告した通り、BigRIPS 関連実験を 1 月に追加配分すべく調整を進めてきたが、主に予算上の制約から実現できなかった。これと関連し、事前に 1 月末の RRC 他 MT を下記の通り変更した。

Exp.-Prog.-Num.	previous	changed
<b>RILAC:</b>		
MS-EXP12-10 (Kuboki)	suspended	→ Jan 29, 9:00 – Jan 29, 21:00
<b>AVF:</b>		
ML1101-AVF32-02 (Yokoyama)	Jan 7, 9:00 – Jan 8, 9:00	→ canceled
RI0702-AVF04-36 (Haba)	Jan 30, 9:00 – Feb 1, 9:00	→ canceled
<b>RRC:</b>		
<sup>12</sup> C { IB0702-RRC01-59 (Abe)	Jan 22, 9:00 – Jan 23, 4:00	→ Jan 31, 9:00 – Feb 1, 4:00
ML09011-RC20-22 (Izumi)		
ML1101-RRC30-04 (Fukunishi)		
<sup>40</sup> Ar { IB0702-RRC01-58 (Abe)	Jan 24, 9:00 – Jan 24, 19:00	→ Feb 4, 9:00 – Feb 4, 19:00
ML09011-RC20-20 (Izumi)		
<sup>56</sup> Fe { MS-EXP12-08 (Hirayama)	Jan 26, 9:00 – Jan 28, 19:00	→ Feb 6, 9:00 – Feb 8, 19:00
IB0702-RRC01-57 (Abe)		
ML09011-RC20-23 (Izumi)		

#### 2. 施設検査報告 (上叢)

2012/12/5–7 の 3 日間、国による放射線施設の定期検査(施設の検査)、定期確認(書類の検査)が行われた。和光地区全施設について、使用施設、貯蔵室、及び廃棄施設の点検が実施された。検査結果を受け、AVF に係わる対応として、最大ビーム電流を半分に制限するとの変更届を 12/18 文科省(文科大臣)に提出した。具体的には

- 15.1 MeV を越える陽子ビームは最大強度 10  $\mu$ A まで
- それ以外は最大 25  $\mu$ A まで

を利用可能とし、AVF 室で 10  $\mu$ A を越える強度のビーム照射を行う実験が行われる時は、インターロック制御により E7 実験室は入室禁止とする。なお、今後 AVF 室標的周辺に局所遮蔽を整備し、E7 実験室の入室禁止は解除される予定。

### 【議題】

## 1. 前回議事録承認(酒井)

## 2. FY2013 上期 MS 申請(酒井)

前回会議に引き続き、RIBF 施設基幹設備開発用の Machine Study 枠 (MS) の申請課題を審議した。申請課題 (MS-EXP) について、実験代表者による概要説明の後、採否の審議を行った。また、加速器基盤研究部によるビーム加速テスト (MS-ACC) の 1 課題について、実施計画の説明があった。ここで採択された課題への MT 配分については、PAC 採択課題と共に下記議題 3. で別途検討された。申請課題と結果は下記の通り。

Category	Spokesperson	Device	Beam	E/A (MeV)	Current (pnA)	Request (days)	Result
MS-EXP	Kuboki	RILAC	$^{238}\text{U}$	1.45	10	1.5	Approved
MS-ACC <sup>*1</sup>	Kuboki	RILAC	$^{136}\text{Xe}$	1.6	max	0.5	-

<sup>\*1</sup> MS-ACC はビーム加速テストのみ実施する MS を指し、通常のビーム加速と同様、ここでの審議及び課題ごとの安全審査を必要としない。MS-EXP はそれ以外の課題で且つ施設側が実施する基幹設備等の開発 MT を指す。

## 3. FY2013 上期 MT 計画 (酒井)

共用促進チームより、次期上期 (正確には 2 月-9 月末) の MT 計画の最終案が提示され (上野)、承認された。これにより、上期の BigRIPS 関連実験は、4/3 の加速器調整開始以降、6 月末まで MT が実施されることとなった。

## 4. FY2013 下期 MT 計画概要(酒井)

BigRIPS 関連実験への供給ビーム案と実施時期・期間など、下期の MT 計画の大枠が検討された。使用・許容電力の見込みについて説明があり、また、予算措置がなされた SLOWRI 及び戻しビームライン (後者は生物照射コースへのビーム輸送系のみ予算配付) の下期の建設工程などについて説明があった。12 月中旬-2 月中旬は CGS のメンテナンス及び SLOWRI 建設のため BigRIPS 関連実験全てが、また、7-2 月は戻しビームライン工事による影響で、AVF 入射の BigRIPS 関連実験が制限される予定

## 5. 次回 NP-PAC 課題審査でベースとする一次ビーム強度(酒井)

3 月中旬頃、次回第 12 回 NP-PAC 会議 (6/28-29 開催) の課題募集を開始する予定であると報告があった (上野)。本年度の実績を踏まえ、実験日数を算定する上で想定すべきビーム強度を、次の通り改訂することとした。

- $^{238}\text{U}$ : 10 pnA
- $^{124}\text{Xe}$ : 20 pnA
- $^{70}\text{Zn}$ : 75 pnA

## 6. 施設利用等に関する情報発信

- PAC 課題募集と MT 配分募集の大まかな年間スケジュールを案内するよう要望があり (青井)、RIBF のホームページを改訂することとした。
- MT 委員会議事録が web 上で公開された際、ユーザーにも通知した方がよいとの提案があり (青井)、理研側からメールで案内することとした。
- 課題募集時に十分な技術データを提供出来るよう、RIBF のホームページに、SHARAQ と SAMURAI の施設情報を追加することとした。また、BigRIPS の技術情報の一部がパスワード管理

されているが、解除が可能かどうか BigRIPS チーム内で再度検討してもらうこととした。

#### 7. 次回 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 2/15(金)13:30-で調整。
- 次々回は 3/15(金)13:30-で調整

(以上)